

第 2 回 田沢湖地域審議会会議録

1 日 時 平成 19 年 11 月 14 日 (水) 午後 1 時 30 分

1 場 所 田沢湖庁舎第 1 会議室

1 出席委員

伊藤和彦 山手祐子 八柏龍也 高橋正治
羽根川朋幸 細川雪子 羽根川 覚 小松 直
高藤孝子 高橋 達 草 弼 俊 一

1 欠席委員

藤村正喜 千葉正登 羽川 芙紗子

1 参 与

田沢湖地域センター長 田口威徳 総務部次長兼企画政策課長 倉橋典夫
総合窓口課長 柴田英孝 地域振興課長 藤原一良
企画政策課 阿部 聡 総合窓口課 佐藤祥子

1 会議次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 定住人口 3 万人の確保と交流人口 1,000 万人の具体的方
策について

(2) 廃校舎の利活用について

(3) その他

4 閉 会

総合窓口課長

ただいまから第 2 回田沢湖地域審議会を開会いたします。会長あい
さつをお願いします。

(午後 1 時 30 分開会)

会 長

どうも皆さんしばらくぶりです。今日は3人欠席者がおりますけれどもお集まりいただきありがとうございます。大きく分けて二つの諮問をお願いしたいということだそうです。皆さん一緒にこの場で検討するのもいいし、二つに分かれて集中して意見交換してもいいということでしたので、そのこともお諮りしながら、会議を進めたいと思います。西木の状況を聞きましたところ、二つに分けてできるだけ突っ込んだ話をしたいという方向でいるそうです。それから今日の終了時間ですが、大体4時を目途にしたいと思いますがいかがでしょうか。

(異議なし、の声有り。)

総合窓口課長

それでは議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては地域審議会の設置に関する協議第7条の規定に基づきまして会長からお願いします。

議 長

企画政策課長がきておりますので、審議前にもし質問等あればお聞きしたいと思います。従前に資料が配付されておりますのでなにか聞きたい点ありましたらそれを聞いた上で班編制をやるかどうか。この内容で答申がだせそうか。重点プロジェクトにつきましては既に事業が動いているわけで、その途中経過を踏まえて提案できるところは提案していきたいですし、また、廃校舎の利活用については田沢中学校のみ、他の学校はあまり考えなくて良いと思いますが。

総合窓口課長

田沢中学校を中心にして審議していただきたいと思います。田沢中学校につきましては、企画政策課を中心にして地元のNPOの関係あるいは関係職員等で内部的な委員会を立ち上げまして検討会を5回ほど開催しております。今回配布しております資料にまとめて記させていただきます。

議 長

会議の進め方について班編制にするかどうかをお諮りします。

高橋正治委員

これだけの人数ですので班編制しなくてもいいのではないのでしょうか。

八柏龍也委員

私もそう思います。

草彅俊一委員

班編制は必要ないと思います。

議 長
一緒にやった方がいいという意見ですが、皆さんいかがでしょうか。
(異議なしの、声有り。)

議 長
その方向で進めたいと思います。この審議会は答申出すまでこれ1回
でしょうか。もう1回位あるのでしょうか。

総合窓口課長

今回と1月末までにもう1回予定しております。特に今日は企画政策
課の職員が同席しておりますが、次はとりまとめみたいな感じになると
思いますので、聞きたいことがあるとすれば今日聞いていただきたいと
思います。

議 長
わかりました。そうすれば今回は担当課から聞きたいことを質問しな
がら、次回は答申が出せるように。それで結構ですね。最初重点プロジ
ェクトの推進について。特に諮問されているのは、定住人口3万人の確
保と交流人口1,000万人の具体的な方策について、今進めている方
向等について、皆様のご意見、また、それに関する質問があれば事務
局に質問していただきたいと思います。

小松直委員

参考資料の中味について主要なことだけ説明いただきたい。

細川雪子委員

説明を聞きたいです。説明していただくと私の疑問も解決すると思
います。

議 長
要点について簡単に説明していただけますか。

次 長
重点プロジェクト等について資料に基づいて説明した。

議 長
細川さん、先ほどの質問、今の説明でおわかりになりましたか。

細川雪子委員

2ページのところでスローライフモニターツアーの最終的な参加者は
10組16名とありました。60組107名の応募者とありますが、主
にどういう地方の方だったのか。それから、感想を読んで、これを企画
された市役所の担当の方々がどういうふうにそれを分析して、次の体験
ツアーを新しく考えられているのか。

議 長

応募者の出身地とアンケート調査の結果をどう対応しようとしているのか伺います。

次 長

106名の半分以上が東京都。ほとんど東京近郊の方で、一部関西方面の方もいたと記憶しております。参加された方では、千葉県、東京都、静岡、埼玉近辺だったと記憶しております。

細川雪子委員

例えば、旧田沢湖に親戚があるとか、そういう関連のある方はいましたか。

次 長

奥さんの出身が西木という方が1人おりましたけれど、半分位は初めて来たという方です。年代的には1組だけ20代の姉妹の方がおりましたが、他は60歳前後の方でした。応募された方も9割が60歳前後。今回の感想文をまだ精査しておりませんが、来年以降も続くようにしたいということを検討しております。ただ、今回初めてでしたので市が主催して行いましたが、できれば観光協会等で企画していただいてそれを市がサポートする形にしていった方が継続して実施できるのではないかと考えています。今回の応募状況を見ますと団塊の世代の皆様方に限定してもいいような気がしています。こちらに来ていただきたいということをもう少しアピールした形で募集したらという意見がかなりありましたので、ただの観光ツアーになってしまっただけではいけないと思っています。

細川雪子委員

このことについては詳しく皆さんで協議する内容はありますか。

議 長

当然協議します。

細川雪子委員

その時に私の意見考えを述べたいと思います。

議 長

その他に質問ありませんか。

小松直委員

工業用地の候補地ということで勉強会が開かれたようですけれども具体的にどういうふうなことを検討されたのか。

議 長

今の部分が今回入っていたのかどうか確認したい。

次 長

定住対策のいろんな会議で、雇用の場の確保ということで、企業誘致

を進めてほしいということをとくさん言われております。ただ、仙北市には工業団地といわれる場所が西木地区に1カ所あるだけで、そこも進出予定の企業との調整がまだ終わっていないということで、具体的な土地が一つもないという現状です。具体的な企業の進出が見込めない段階で民間用地を買収することは難しいということで、市の所有地と財産区有地を中心に調査しています。主として田沢湖地区、特に生保内地区に財産区有地がたくさんあるので、ピックアップされた土地が多かったわけです。当然角館・西木においても何カ所もありましたのでそれらを総合的に検討いたしました。まだ内部でも最終的な調整はしていませんが、カヌー会場の跡地は市有地及び財産区有地ですので、周辺に対しての影響も少ないのではないかとということで検討しているところです。

草彥俊一委員

3回定住対策懇談会を開いていますけれども、先に進むような状態であるのか。結果が出るような方法でなければ、大変じゃないかと思いません。財政のことも絡んでくると思いますので、できればご説明願いたい。

定住問題について合併前も論じています。また、田沢湖町の定住促進委員会のやったことを拾っていますので残念だなと思って発言したわけです。

議 長

なかなかうまくいかないと思定住して来ないだろうからそういうのがあったらお願いします。

次 長

定住関係について、仙北市として新しい気持ちで取り組んでいるところです。それから、定住対策懇談会何回か議論していますが、今年の分が終わったらとりまとめをします。

田沢中学校に関してはずいぶん前からいろんな議論をしていますが、なかなか具体的な活用方法が決まらない現状でございます。今回角館の2校が増えて一挙に4つの校舎が廃校ということになりますので、今年中には一定の方向付けをしないとうまくないと認識しています。ただ、何か別の形に転用するにしても、多額の工事費をかけて改修するというのはすぐには難しい面もございます。活用方策、方向付けだけはできるだけ早くしたいなという今の段階でございます。

議 長

廃校の利活用についてなんですが、これを活用するとそれなりの諸経費がかかります。その償却等ができるような活用でないとなりたないわけです。そこまで考えて活用方法を考えていかなければだめだという

ことになれば、田沢中学校に関して、どういう状況に置かれているかということを知りたい。それから、維持管理費などの位かかっているのか教えていただきたい。

総合窓口課長

田沢中学校の関係ですけれども校舎の建築年は昭和59年でございます。体育館は昭和58年、コンピュータ教室は平成5年。校舎分の補助金の償還額（残存価格）は平成19年末で4700万円程度、起債残は350万円程度です。他の二つにつきましては次の会議で資料等を提出したいと思います。最終的な償還期限等につきましても後日示したいと思います。田沢中学校の年間の維持管理費ですが、大体120万円程度と記憶しています。内訳の大きいものはセコムへの支払です。後は消防等の委託関係、経常経費等です。

小松直委員

田沢湖町時代、定住対策懇談会の席で、町で維持管理するとすれば大変な金がかかるということで、当時は、玉川温泉が予約いっぱいであるので、あそこを玉川温泉のセミホテルというふうな形でやる方法を考えるという提案がされたこともある。資料を見たら廃校後に複合住宅にして活用しているような事例もある。移転者よりはそちらの方が冬期間を考えればいいのではないかと。

議長

提言みたいなものも出てきましたけれども。

草薨俊一委員

廃校後の利用について教育委員会あたりはどう考えているのか。全体的な行政の枠組みの中で考えていかなければと思います。

議長

提言するに当たって今質問しておかなければできないことを今聞いておくということにしたいと思います。一人ずつ発言してもらいたいと思います。

羽根川朋幸委員

今まで何回か中学校の話し合いに参加して、いろんな意見を出しても、最終的にお金がないから出来ないというところに落ち着くんです。この会で話し合いして答申しても、また、お金がかかるから駄目だということで終わるのであればいつまでも話が前に進まないのではないかと。答申してもできないのであれば相談しても無駄な時間ではないかと思えます。

議長

審議会は決める会議でなくて意見をだす会です。だから、提言の質を

財政のことも全部考えた建設的なものとするれば、市として良ければのむでしょう。財政のことも何も考えない我田引水的な地域の要望を並べたものでは市では対応できないと思う。民間で金を出してその施設を活用して地域を活性化できるようなものを探し当てることができればその事に関して市で無償提供する可能性も出てくるけれども。

羽根川朋幸委員

一例を挙げると、大学に冬期間だけのキャンパスとして買い上げてもらうとか、ホームページ等に載せたらどうかということで提案した。載せますと言ったけれどもどうなったのか。今まで過ごしたことが無駄な時間のような気がして。

議長

建物の償還が終わって、自由に使えるようになればいろんな可能性が出てくる。市がやれるような、より良く使う方法を委員として提言できるように皆さんで何とか勉強してもらいたい。例えば小松さんの言ったように民間のホテルと提携すれば市として何もやらなくてもホテルの方で予約を取ってそこに人を誘致するようになれば地域が活性化すると思うので。そういう事を我々として意見をまとめましょう。

総合窓口課長

資料等につきましては、補助金の償還残、起債残高、使用してもいい条件等について次回の会議までにお出ししたいと思います。年間経費等についてもお示ししたいと思います。ただ、全体のものが欲しいのか、資料の出し方について教えて下さい。

田沢中に限って利活用できるものということで、他の学校、公民館、図書館、博物館、青年の家等社会福祉施設、体育館等の社会体育施設、美術館等の文化施設、児童館、保育所及び養護施設等の児童福祉施設、老人サービスセンター及び特別養護老人ホーム等の老人福祉施設、障害者福祉施設、公害防止施設、防災施設、医療施設、試験研究施設、研修施設、庁舎活用等があります。今は庁舎活用ということで使用しています。

小松直委員

起債の残りだとか、繰上償還等はいらないということですか。

総合窓口課長

このものであればそうです。別のものであればいろんな制限を受けるということです。

草彥俊一委員

目的外使用といっても維持経費がかかる。必ずそこには財政が伴うは

ずです。最終的にお金がないのでやらないとなれば前途があまりにも暗闇ということになる。だから、田沢湖地区だけでなく、仙北市全部のことを知っておかなければと思います。この会議に部長クラスの方の出席をお願いしたい。いろんなことを上げてやっても必ず部長クラスまでいくのでぜひ会議に出席してもらいたい。

細川雪子委員

今草薨さんが大変大事なことを言ったので、その2点についてはこの会としてきちんと要望して欲しいと思います。一つは教育委員会として廃校の利用法をどのように考えているのか。もう1点は、部長クラスの方をこの席に同席させて欲しいということ。それから、進め方ですが、もうそろそろ柱になる材料が出たので進めていかないといけないと思います。

次 長

今、教育委員会と企画政策課で廃校の活用について検討を進めています。上桧木内小学校につきましては、上桧木内部落会の方で調査をしたり役員が集まったりして、二つの用途について市と協議したいという申し入れがありまして、来週西木の地域審議会がありますのでその席でお話を聞くことにしております。現在は市の倉庫ということで、庁舎の一部という形を取って届けています。角館東小学校につきましては角館の芸術文化団体の皆さんから社会教育施設として使わせて欲しいという陳情書が出されて議会で採択されております。仙北市としてその方向で検討しています。西長野小学校につきましては西長野部落会に行って説明会を開催し、部落会の会長さん、副会長さんに別途事情説明して検討しているところです。地元からは全部でないにしても地域の施設としての活用をお願いしたいという案を示しています。その方向で考えております。学校の立地条件によって一概に一つの方向というのはなかなかできないし、それぞれの学校のおかれている地域の現状を十分に配慮しないと難しい問題だと思っています。田沢中学校についてなぜいつまでもというご意見もとてもだと思っています。田沢は小学校と同時に廃校になり、小学校はいち早く地域の交流センターということでかなりのお金を投じて改修して活用を図られている関係で中学校の方が遅れてしまったという事情はあるかなと思います。

議 長

教育委員会と一緒に話し合いをしていて方向性はそれなりに検討しているということです。それでは質問はこれぐらいにして、今から提言ということで意見を述べていただきたいと思います。これは最終的に提言

に盛り込むかどうかを確認しながら進めていきたいと思います。

八柏龍也委員

定住というのは外部から連れてくるだけが定住の対策ではないと思います。現在いる人達がこれからもここに住み続けられるような対策というものも、定住の一つでないかと思います。現在居住している人達が住みやすい、高齢で身体が不自由になってもここにいたいという気持ちにさせるような。そういう観点からも定住対策を考えて行くべきではないかと思います。例えば西木町に作家の方がおり、物書きは田舎でも出来るということで母の介護をしながら執筆活動をしています。必ずしも都会でなくてもできる仕事がありますので仙北市のすばらしい環境をしっかりと認識して下さればそういう方々にも来てくれる可能性があるのではないかと思います。

議 長

外部から入れる事業も大切だけれども、今いる人が出ていかないでこっちで暮らしていける環境整備。企業誘致とかいろいろあるわけですが、そっちもそれなりに進めていってもらいたいということですね。これは皆さん提言として盛り込みたいと思いますがいかがですか。

(異議なし、という声有り。)

羽根川覚委員

スローライフモニターツアーの感想が載っていましたが、今回抽選で落ちた人の中に本気でこちらに住みたいという人がいるかもしれないという意見がありました。私も同感で今回落ちた人にも今後呼びかけをすべきと感じました。それから、同じくスローライフモニターツアーの参加者の感想の中で、空き家を見たけれども大きすぎる物件ばかりでというふうに2人程言っていました。完全に移住する考えでもなくて、例えば別荘みたいな感じで二つの地域に住みたいと考えている人が結構多いのではないかと思います。テレビで団塊世代の移住体験の放送をやっていましたけれども、それを見ても、完全に移住したいという人よりも二つの地域に住んでみたいという人が多かったというふうに放送していました。空き家だけでなく別荘みたいな小さな家を建てる宅地というものもピーアールしたらどうかと思います

議 長

分譲地を用意するということですね。行政でやるべきか、民間でやるべきかどちらでやるのか確認したい。

羽根川覚委員

できれば行政でやって欲しい。

議 長

スローライフモニターツアーの参加者が定住したいと思って来た人なのか確認できているのか。二つの地域に住みたいという確認が応募の時になされているのか。

次 長

確認は取っていません。

議 長

応募項目に入れていなかったんですね。今後は是非入れてもらいたいですね。

次 長

はいわかりました。

細川雪子委員

羽根川さんが話された番組を私も非常に興味を持って見ていました。今回のツアーはいいところだけを見せているということと数日間であるということが一つのネックだと思いました。季節毎の実際を見ていただくことを考えるべきだと思います。自然の厳しさとか、少ない住民の寂しさとか、医療関係の困難さとか。そういうこともクリアした上で定住を考えてみたいと思うようにしていただければいいんじゃないか。また、空き家を整備して数週間体験してもらうことも要望されるんじゃないか。これは今すぐじゃなくて年次計画の一つとして。

議 長

市の建物ではないので、所有者にそういう形でやっていくような働きかけをして、何日か住んでもらうような形を取るとのことですか。

細川雪子委員

それは市との話し合いということで、市がどれほど乗り気であるかによろと思います。そういう方法もあるということですよ。

議 長

予算が絡むので、細川さんの意見をとおすのであれば、民間にはたしてそういう人がいるのか。空き家を確認する場合、そこまで確認を要する。そういう人がいればそれをぜひやってもらいたいということですか。

細川雪子委員

そうです。ただ空き家調査をして写真を出してということだけでは形にはならないと思いますので。

議 長

この点について何か付け加える意見ありませんか。アンケート調査で出たことに対して、どう空き家の主に改善の要請ができるかどうか。そ

こら辺を含めてもう少し行政として借りる側にたって対応してもらいたいぐらいの提言でいいでしょうか。皆さんこれを取り上げていいでしょうか。

(異議なし、の声有り。)

高藤孝子委員

空き家をしているというのは住む意志がないから空き家をしているのか。

議 長

多分、空き家を改造して住む経済力が無いと思います。分譲地を安く、あるいはただで貸すというほうが利用者が多いと思います。市民に喚起しておいて、空き家になった時はすぐに貸せる様な状態にしましょう位がいいのではないかと。現在の空き家はなかなか困難だと思います。

細川雪子委員

先ほど草薨さんも話されたように、非常に難しい。何をするのも難しいということでは何も形にならない。

議 長

そうではなくて今後も審議会ですできるだけ具体的に可能な形の提言ができるように、私たちが勉強してそこまで引き上げた良質なものを提言したいなと思っています。後から駄目だと言われないような緻密な提言をするように心がけていきたいと思っています。

細川雪子委員

一つのことのできたので、はいおしまいということではなくて。そのネックになったものは何かというのを点検しながら進めていただきたいということですね。

高橋正治委員

産業連携プロジェクトの関係で話したいと思います。広大な仙北市の資源を抱えていながら、一つもプロジェクトの中に入っていないような気がします。しかし、これからの地球環境問題等考える場合には木質バイオの利活用が必要だと思います。木質バイオを活用したガスによる電気発電を2～3年前から提言して、市にも示しています。資源の活用というものを取り上げてもらいたい。

議 長

環境に優しい生活ができる仙北市という形をとらえれば、木質バイオの関係が、非常に貢献できるわけです。環境に優しいということは資源を有効利用しながら定住につながりますのでこの提案を取り上げたいと思いますがいかがでしょう。

(異議なし、の声有り。)

小松直委員

若者の流出防止、働く場の確保がとても大事だということを強調したい。それから、廃校の問題は、あまり、市の財政負担にならないような方法で検討しなければと思います。

議 長

部落等に任せると指定管理団体の指定ということで市から某の金を出さなければ運営できないという前提で活用されることに対する危惧ですね。

小松直委員

西長野小学校を集落で維持するとなれば大変だと思います。あまり負担にならないような形で、財政的な問題を十分考えた上で結論を出してもらいたい。

議 長

結論を出してもらえという意見ですね。玉川の意見は取り下げですか。

小松直委員

その後、玉川温泉の下の方にいろんな施設ができたので状況が変わっていると思う。できるものであれば市から皆手を離して運用できたらと思います。相手のあることですので。

(高橋正治委員退出 午後3時)

羽根川朋幸委員

定住に関しては、何かの事情で家から離れられない若者、本当に田沢が好きでここから離れない若者しか残らない。結局能力ある人は皆都会に出てしまう。どうしてかという職場がないから。市に企業誘致をお願いしてもそれは出来ませんというし、ここで事業を興すこともできないし。退職してきた人はお金に困らないからここに来て平気だが、若い人がここに来て生活するとなれば家族を養わなければならないので収入を得る仕事が必要である。これが一番根本の問題でないかなと思います。具体的に何か示せと言われればちょっとわかりませんが。

議 長

仙北市に定住できる人口は何人なのか。コンサルとかに頼んで積算すると案外これだけしか住めないというものが、出てくるかもしれません。

細川雪子委員

若い人がどんどん出ていくのはそこなんですよ。

議 長

それを止めるには高等教育をさせない、他のことを見せない。外に知

識が広がれば、家がここにあるからここで生活しなければいけないという考えではない。大学生等の話を聞くと日本は二極化になる。かなり豊かな人と豊かでない人に分かれていく。豊かでない人にならないように必死に働いている。豊かになるにはここで企業とか起こして地場産業を活用すれば東証に上場できるような企業もでてくるかもしれないが、そうでない人は他に就職しないと。高等教育が進めば進むほどそれが顕著に表れてくる。そういう現実を理解できる。その現実を何とかする。定住化構想の中に何かないか模索してもらいたいという意見ですね。上桧木内で生活する人は何年か後にはいなくなるのではないかという予測まで今の大学生は考えている。恐ろしいことですが、現実的に非常に厳しい状況だということ提言の中にまとめる。これからは外部のコンサル等に、働く場所を確保するためのいい前例とか、こういう形でいけば生きていくに良いというような意見を募集してもらおう事が必要かもしれません。

高藤孝子委員

田沢中の利用について、定住をお試しするための宿泊棟に使うとか、道の駅風に利用して農産物の直売所、農産物を使ったレストラン、郷土料理の提供、料理体験というような形で利用するとか。公的な利用でなくてもいいとなればそういうような形で宿泊ということも考えられると思っています。

議 長

NPOとか、市で経営するのか。

高藤孝子委員

市で経営するとできないでしょうから、例えば田沢地区とか、田沢湖全体で有志を募って、NPOという感じになると思います。

議 長

そういう雰囲気地域に醸し出してそちらに向かわせるような基本開発での段取りが欲しいということいいですか。

高橋達委員

テンミリオンプロジェクトについて。今まではちゃんと売り込まれて、知られている観光資源を中心にして誘客整備等をやってきたのではないかな。もっと増やしていくためには、地域にあるちょっと手をかければもっとお客さんに来ていただけるような観光資源を開発、整備していくのが大事でないかと思います。抱き返りの紅葉祭りをずっとやってきましたが、今回遊歩道を回顧りの滝まで整備していただきました。今回新たに田沢湖・角館の観光協会、お祭りの実行委員会、神代の活性化推進協

議会と4つの団体で抱き返り誘客宣伝連絡協議会というものを立ち上げて近年にない位誘客宣伝に努めました。効果はすごくあったと思います。二つの観光協会が依然として残っていますが、観光協会も一本化してやればもっと相乗効果があると思います。田沢湖と抱き返りは県立自然公園で玉川でつながっています。抱き返りからあるいは夏瀬から堂田を通して生保内方面へ来られないかという要望がたくさんあります。遊歩道については飯村少年の殉難碑のところまでですが、一日も早く夏瀬まで整備して欲しいという話があります。これも誘客につながる部分になるのではないかと思います。誘客するには受け入れ体制の整備も併せてやらなければならない。例えばシーズン中だけでも仮設トイレを設置することも必要でないかと思います。

議 長

ちょっと確認したいんですが、観光地の整備受け入れ体制について、観光協会が協力金等を取って工夫して対応すれば、西木のかたくりの例のように手間賃が払えるだけの事業を行えるわけです。そういう形を期待するのか。それとも市へ期待するのか、観光協会へ期待するのか。

高橋達委員

堂田の道路についてはやはり市が中心になって県なり国なりに働きかけて行って欲しい。受け入れ態勢の整備については役割分担をしながら市でできるものは市で、民間でできるものは民間、観光協会のできるものは観光協会ですべきでないかと思います。今までのように使用者対策を考えないで誘客宣伝をするのは極めて無責任だと思います。

草薙俊一委員

冬の対策について、田沢湖のスキー場が良いといっているが、いくら理解しているかということが一つ。今お客さんが来ないのは景気が悪いからというのが一つ。自分のところにある宝をなぜ放っておくのか。もっと真剣に取り組むべきだと思います。これはやりさえやれば金の宝です。

議 長

それは、観光協会の一本化ということですか。

草薙俊一委員

それはむろんですよ。それをやらなければ何もできない。

議 長

人が来ないという対策は、具体的な形で、これは市がやるべきだ、これは観光関係者がやるべきだという議論を立ち上げるように。これはやはり草薙さんに頼むしかない。

草薨俊一委員

これは必ず市が、関与しなければ物事ならないですよ。民間がやったらやるというのではなく。行政と並行した形の中でやらなければ。

議長

欠けてきたということですか。今のことなかなか提言に盛り込めないのでもっと文章を作って教えてくれないでしょうか。それを見て後から皆さんに諮ります。

細川雪子委員

高藤さんが先ほど話された、体験、お試し宿泊施設田沢中の考えは、定住化と廃校利用と絡まっていたいい方向の提案であると思います。

議長

それを立ち上げる方法とか。田沢地区の住民への働きかけが必要。核になる人を何と見つけていくか。田沢はすごく部落意識のしっかりしたところなので、そこにお任せするしかないのではないのでしょうか。

細川雪子委員

一つの案として提示したいと思います。そうすれば高橋さんの案も形に表すことができるし、廃校利用もそれなりにできてくるのではないかと思います。田沢の人達の話し合いがどのように進んでいるか。

議長

そういうところにあって、先生少し口説いて。こうすればいいとか。意識改革をやって。例えば山形県の小国町というところはかなり僻地の学校ですが、海外からもそこに来て自然を満喫し、合宿したり、勉強したりしています。そういうところを視察させるとか。田沢はそういうスポットでないかと思います。あそこは自治意識がしっかりしているから。これを提案に盛るためには住民への働きかけをしっかりとやるということ。

小松直委員

企業を誘致するには相当思い切ったことをしなければ来てくれないと思うわけです。田沢湖には財産区有地がかなりあるわけですので思い切った土地を無償提供するなりして誘致する。そういうふうなことでもしなければなかなか実現は難しいと思うので、考えていただきたいと思います。併せて基幹道路である46号線の整備を要望してもらいたい。

議長

観光施設だけでなく道路整備も。

高橋達委員

玄田坂で何かトラブルあれば46の基幹道路がストップしてしまう。

草薨俊一委員

合宿の関係はどうなっているのか。首都圏の大学のスキー部に働きかければ相当の人数が確保できると思う。そういうようなものは何も出てこないのか。

次 長

合宿の誘致に関して助成金制度を設けたいということで検討しています。来年度からやりたいと思っています。

山手祐子委員

定住について考えていることについて。田沢湖畔に首都圏から来てお住まいになっている夫婦がいます。ご主人が山にアケビの材料を取りにいったアケビ細工を作ったり、奥様も手作りで何かを作って売ったりしています。実際に定住した方の声を体験談として載せていただきたいと思います。例えばモニターツアーにしても彼女たちのところに一番先に連れて行っていただきたい。定住したい人必ずしもスローライフでなくていいと思うんですけれども、仕事をするための住居だったり別荘だったり。仙北市の中のこの地区はこういう方にお奨めですというような何か趣味に絞った進め方も一つかなと思っています。以上二つです。

議 長

定住者のすばらしい生活を見せることが一番いいと思います。できればそういう人達と短期間共に生活をさせていただくとか。ヨーロッパの民宿とかどこかに泊まって体験学習するように。観光客として気を遣って迎えるのではない形の中でいかに受け入れられるか。来た人が成功してうまくここで生活しているのを見せたい。ここに住みたいというライフモニターツアーの一つの取り上げとして検討してもらえばいいと思います。こういう事を提言したいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし、という声有り。)

八柏龍也委員

1,000万人を超す観光客を呼ぶためには海外からも観光客を呼ぶ対策をどんどんやってはどうか。冬期間観光客が少ないといいますが、韓国とかそれ以外にもっと働きかけてはどうか。海外から来る旅行者の方々は50パーセント以上の方々がインターネットで情報をつかんでこちらに来るといふふうに言われていますので、インターネットのサイトに工夫して載せてもらいたい。観光協会でもっと工夫して欲しい。再検討の余地があるのでは。

議 長

海外へ行くにもインターネットで予約する時代になっているので、イ

ンターネットのできばえが大きく影響するという考え方は大事だと思いますので今のプロジェクトで取り上げられる方法があるのであれば。

山手祐子委員

ネット関係につきましては観光協会でも人員不足で進めれない部分もあって人を補充して新情報を出そうとしています。最低限新しい情報を入れるようにしたい。海外の方が非常に多くなっていますからその関係も進めています。誘致もすごくしています。ただ問題あるとすれば語学の問題で、受け入れ方に英語を話せる人がいるかどうか。そういう勉強会に関しては若干不足しているような気がします。

草彌俊一委員

仙北市観光振興計画ということで5回位やっているが、どういう事を論じてこれからどうするかという事を話し合っているか。

次 長

今年計画書を作るということで、観光課が中心になって素案をまとめているところです。

議 長

そうすれば大体時間ですので今日お話ししたことを事務局にまとめていただいて次の機会にそれでいいか提言の概要をもう1回確認しながら。また、いろいろ気づいてこれだというのがあれば当然取り上げて後で対応したいと思いますがいかがでしょうか。

草彌俊一委員

食のことを少し入れて下さい。今回農業のことを何も言っていない。

議 長

林業関係のことも出ましたので農業も含めて検討したい。農業をやる人を援護するとか言っているけれども、こっちも大変なのにどう援護すればいいのか。定住の具体的なマニュアルみたいなものが必要かもしれません。例えば趣味の定住であればこういうものがある等。そういった分け方も必要かもしれません。定住の目的が何かによってツアーの組み方を変えてもらうよう検討していただくことを提言に盛り込みたいと思います。そうすれば大体これで終わりたいと思いますが、いいでしょうか。

この次の資料として提出していただくのは田沢中の資料だけでいいのではないですか。

(異議なし、という声有り。)

総合窓口課長

次の会議の際に提出したいと思います。

議 長

田沢中学校だけが特殊だと思います。小学校と同時に統合されたので。資料はでき次第送って欲しい。今回の提言をまとめた資料と一緒に送ってもらえれば助かります。以上で終わります。

(午後4時 閉会)